

## 第5回 小田滋賞選考経過および授賞式の開催

去る6月24日(日)、アルカディア市ヶ谷において第5回小田滋賞授賞式が開催されました。

今回の募集には、14編の応募があり、その内訳は、国際法11編、国際私法なし、国際政治・外交史3編でした。また、応募者には7名の学部生が含まれていました。

応募論文の審査は、予備審査委員会による予備審査と選考委員会による選考の2段階に分けられ、予備審査の結果、7編の応募論文が最終選考の対象となりました。これらの論文については、代表理事から選考委員に委嘱された薬師寺公夫教授、柳原正治教授、吉川元教授による厳正な選考が行われ、その選考結果に基づき、5月20日(日)に開催された第32回理事会は、第5回小田滋賞の受賞者を以下の通り決定しました。

### 最優秀賞

該当者なし

### 優秀賞 2名

前田原作 (京都大学法学部) 研究分野：国際法

中尾元紀 (大阪大学大学院国際公共政策研究科) 研究分野：国際法

### 奨励賞 4名

後藤裕希 (東京海洋大学海洋科学部) 研究分野：国際法

有馬洸 (東京大学大学院総合文化研究科) 研究分野：国際政治・外交史

金世栄 (京都大学大学院公共政策教育部) 研究分野：国際法

瀨田早絵 (同志社大学大学院法学研究科) 研究分野：国際法

授賞式は、受賞者6名のほか、選考委員の薬師寺教授、吉川教授そして理事が出席して開催されました。開会の辞のあと、薬師寺教授から、小田滋賞の趣旨と今回の選考の経緯が説明され、続いて、浅田正彦新代表理事から受賞者に表彰状と副賞目録が授与されました。また、選考委員の2名の先生方から受賞論文に対して期待を込めて詳細な講評を頂きました。引き続き、受賞者の6名から、受賞の挨拶と今後の抱負を述べて頂きました。限られた時間ではありましたが、式典終了後も、受賞者は出席の先生方と歓談の機会をもつなど、和やかな会となりました。

国際関係法教育委員会

委員長 石田 淳